【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【公開番号】特開2010-286163(P2010-286163A)
【公開日】平成22年12月24日(2010.12.24)
【年通号数】公開・登録公報2010-051
【出願番号】特願2009-139860(P2009-139860)
【国際特許分類】
Ｆ２５Ｃ　1/00　(2006.01)
Ｆ２５Ｃ　1/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２５Ｃ　1/00　Ｚ
Ｆ２５Ｃ　1/24　３０３

【手続補正書】
【提出日】平成24年2月22日(2012.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動物等の意匠を施した形状の意匠部分と、この意匠部分と、この意匠部分の外郭と区別される形状であって浮力を得るための土台部分とから成る氷であって、
当該土台部分は、液体に浮かべた際に、少なくとも一部が液中に位置して当該液体から浮力を受け、少なくとも前記意匠部分の外郭の全てを液面上に位置させることを特徴とする氷。
【請求項２】
前記土台部分の平面方向の外周は前記意匠部分の平面方向の外郭より外側に形成され、且つ前記土台部分の厚み寸法が前記意匠部分の高さ寸法より長く形成されていることを特徴とする請求項１に記載の氷。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の氷を製氷する製氷器であって、前記意匠部分を製氷する意匠部用製氷型と前記土台部分を製氷する土台部用製氷型とを備えた製氷器。
【請求項４】
複数の部品に分割可能にしたことを特徴とする請求項３に記載の製氷器。
【請求項５】
前記製氷型の上部に蓋を設けたことを特徴とする請求項３又は４に記載の製氷器。
【請求項６】
請求項１又は２に記載された氷を液体に浮かべて、前記液面上に位置する前記意匠部分を鑑賞させるようにすることを特徴とする氷の使用方法。